

# ほしやかいなん JR阪和線 布施屋駅(和歌山市)～海南駅(海南市)

歩行距離 18.4km  
標準歩行時間 3時間50分  
標準所要時間 8時間10分  
(標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間)

川端王子を過ぎると道が入り組んでくるので道標をたよりに進みます。和佐王子を過ぎると矢田峠の登り口が見えてきます。登るほどに後方に紀の川の眺望が広がります。奈久智王子のある集落を通り、街道の面影を残す四つ石地蔵へ。山麓にひっそりとたたずむ松坂王子から汐見峠を越え海南市へ入ります。



ここから先の散策は

## 和歌山県街道マップ 「熊野古道」がご案内します

和歌山県の熊野街道のウォーキングには「和歌山県街道マップ 熊野古道」をご利用ください。(社)和歌山観光連盟のホームページ(<http://wiwi.co.jp/kanko/>)で見ることができます。この熊野街道マップと和歌山県街道マップをあわせて使えば、大阪から和歌山へとつながる街道の全貌がよく分かります。

## 和佐王子～藤代王子

<和佐王子>『統紀伊風土記』に江戸時代に紀州藩が顕彰碑を立てたと記されています。<平緒王子>藤原定家の『熊野幸記』に「平緒王子は、道次にあらざるの間、参らず先達ばかり王子に奉幣す」とあり、道が不便なため荒廃したようです。<奈久智王子>所在地については『統紀伊風土記』『紀伊国名所図会』の2説があります。<松坂王子>この王子を過ぎると汐見峠から紀伊の海が一望できます。<松代王子>藤原家が赤

ん坊を抱いた盲目の女性と出会ったという有名な話があります。<菩提房王子>『統紀伊風土記』に「鳥居村境熊野古道に字ボダイといふあり」と記されています。<蔵戸王子>熊野聖域への入口であり垢離(こり)をとって心身共に清める場でした。<藤代王子>藤代若一王子とも称され五鉢王子の一つとして格式高い王子でした。斉明天皇が紀の温泉(ゆ)に行幸の際の創建と伝えられています。

## 和佐大八郎の墓

熊野街道沿いに弓の名手、和佐大八郎の墓があります。貞享三年(1686)、三十三間堂での通し矢、一昼夜に八千百三十三本という記録は今も破られていません。身長百九十八センチ三人力だったという彼の弓は、天秤棒のように太かったといわれています。

## 鈴木屋敷

藤白神社のそばに室町時代の面影を残した鈴木屋敷があります。ここが《鈴木は天下の大姓にして族党の多きこと他にその比を見ず》といわれた全国鈴木姓発祥の総本家です。昭和16年(1941)まで百二十代鈴木三郎重吉老が住んでいました。

スタート地点までの電鉄情報

大阪方面	天王寺駅	JR阪和線・特急 約29分	和歌山駅	約11分	布施屋駅
和歌山方面	和歌山駅	JR和歌山線 約11分			布施屋駅

帰りの電鉄情報

大阪方面	海南駅	JR紀勢本線・特急 約47分	天王寺駅
和歌山方面	海南駅	JR紀勢本線 約14分	和歌山駅

